

目次



▶ P.09 トップメッセージ



▶ P.19 ジェネリック医薬品事業



▶ P.25 安定供給体制の確保(座談会)

サワイを知る

- P.02 企業理念
- P.03 歩み
- P.04 価値創造モデル
- P.05 At a glance
- P.06 ビジョン
- P.07 Innovation Meetup

マネジメントメッセージ

- P.09 トップメッセージ
- P.15 中期経営計画「Beyond 2027」

事業戦略

- P.17 ジェネリック医薬品の市場環境
- P.19 ジェネリック医薬品事業
- P.23 CFO メッセージ
- P.25 安定供給体制の確保
- P.29 研究開発戦略
- P.30 競争優位性の強化

サステナビリティ

- P.32 サワイグループのサステナビリティ
- P.33 マテリアリティの進捗
- P.36 人的資本戦略
- P.40 社会
- P.43 環境
- P.47 コーポレート・ガバナンス

データ

- P.54 10か年主要経営データ
- P.56 グループ情報／編集方針

本レポートでお伝えしたいこと

安定供給を支える経営基盤と競争優位性の強化

業界を取り巻く環境が大きく変化するなか、安定供給を支える経営基盤の強化は最重要課題です。市場環境を的確に捉え、供給責任を果たすための戦略や取り組みをご紹介します。

- ▶ P.09 トップメッセージ
- ▶ P.17 ジェネリック医薬品の市場環境
- ▶ P.19 ジェネリック医薬品事業
- ▶ P.25 安定供給体制の確保
- ▶ P.30 競争優位性の強化

事業を支える人財の育成

中長期的な企業価値向上の実現には、事業を支える人財の育成が不可欠です。人財育成に対する考え方と、人的資本の強化に向けた取り組みについてご紹介します。

- ▶ P.25 安定供給体制の確保
- ▶ P.36 人的資本戦略

品質を支えるコンプライアンス意識の浸透

医薬品の品質確保と安定供給には、法令遵守及びGQP・GMPに基づく管理の実践が欠かせません。製造・品質に関わるコンプライアンス意識の浸透と、ガバナンス強化に向けた取り組みをご紹介します。

- ▶ P.25 安定供給体制の確保
- ▶ P.47 コーポレート・ガバナンス

なによりも健やかな暮らしのために

サワイグループの企業理念「なによりも健やかな暮らしのために」には、ジェネリック医薬品事業を中核に、社会とともに持続的に発展する総合ヘルスケアグループとして、ひとりでも多くの人々の健康に貢献していきたいという願いを込めています。グループ全社員の力を結集し、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応えるべく挑戦してまいります。

サワイグループマインド



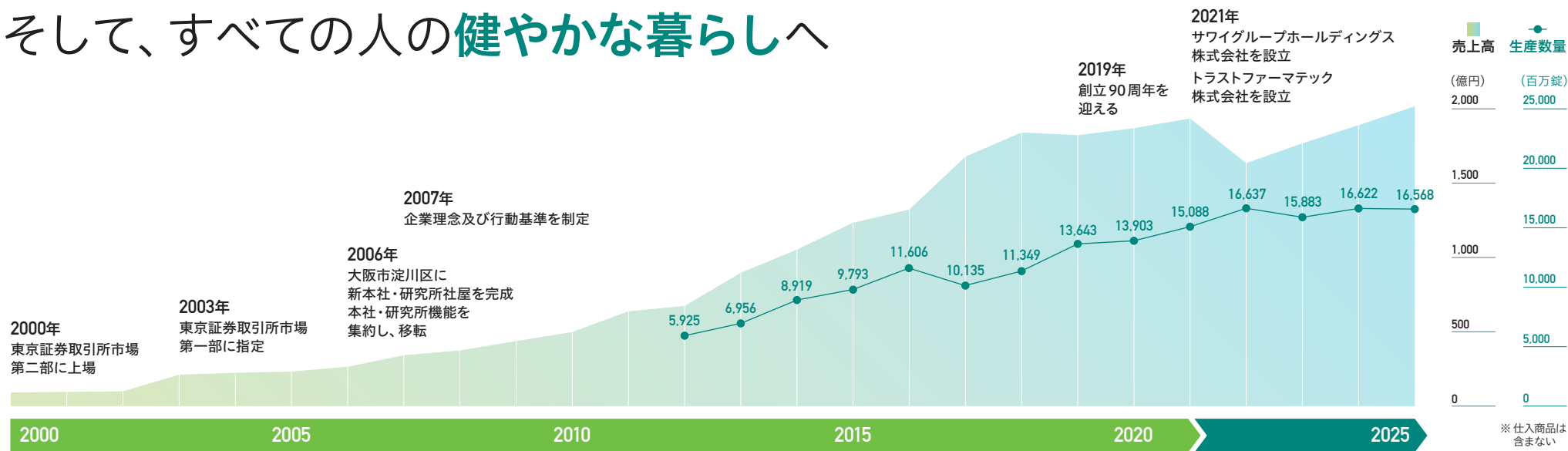
サワイグループは、
真心を込めてあらゆるステークホルダーに対応します

サワイグループは、
より多くの人々のヘルスケアアクセス向上に挑戦し続けます

サワイグループは、
社会に貢献することで、なくてはならない存在になることを願います



なによりも患者さんのために、 そして、すべての人の健やかな暮らしへ



1929年～

地域の町薬局として 大阪市旭区で澤井薬局を開業

今からおよそ100年前、沢井製薬の歴史は始まりました。薬剤師の澤井乃よと澤井範平により、沢井製薬の前身である澤井薬局が誕生。当時(昭和初期)は薬局そのものが希少な時代で、澤井薬局は地域の町薬局として医薬品販売を通じ、地域の方々の健康を支えていました。



1965年～

医療用医薬品メーカーへ転換し GEのリーディングカンパニーへ

国民皆保険制度の導入に伴う医薬品市場の変化を捉え、一般用医薬品メーカーから医療用医薬品メーカーへシフトしました。医療関係者のニーズに応える製品を次々と供給し、ジェネリック医薬品(GE)業界のリーディングカンパニーへと成長する礎を築きました。



2003年～

東証一部上場企業として GEの普及拡大に貢献

「シェア拡大」「経営体質のさらなる強化」「ゆるぎないサワイブランドの構築」の基本方針のもと、ジェネリック医薬品の使用を促進する政府の政策の追い風にも乗り、成長を続けました。関東工場、三田西工場の建設、開発センターの新設など、生産・開発力の強化を図りました。



2021年～

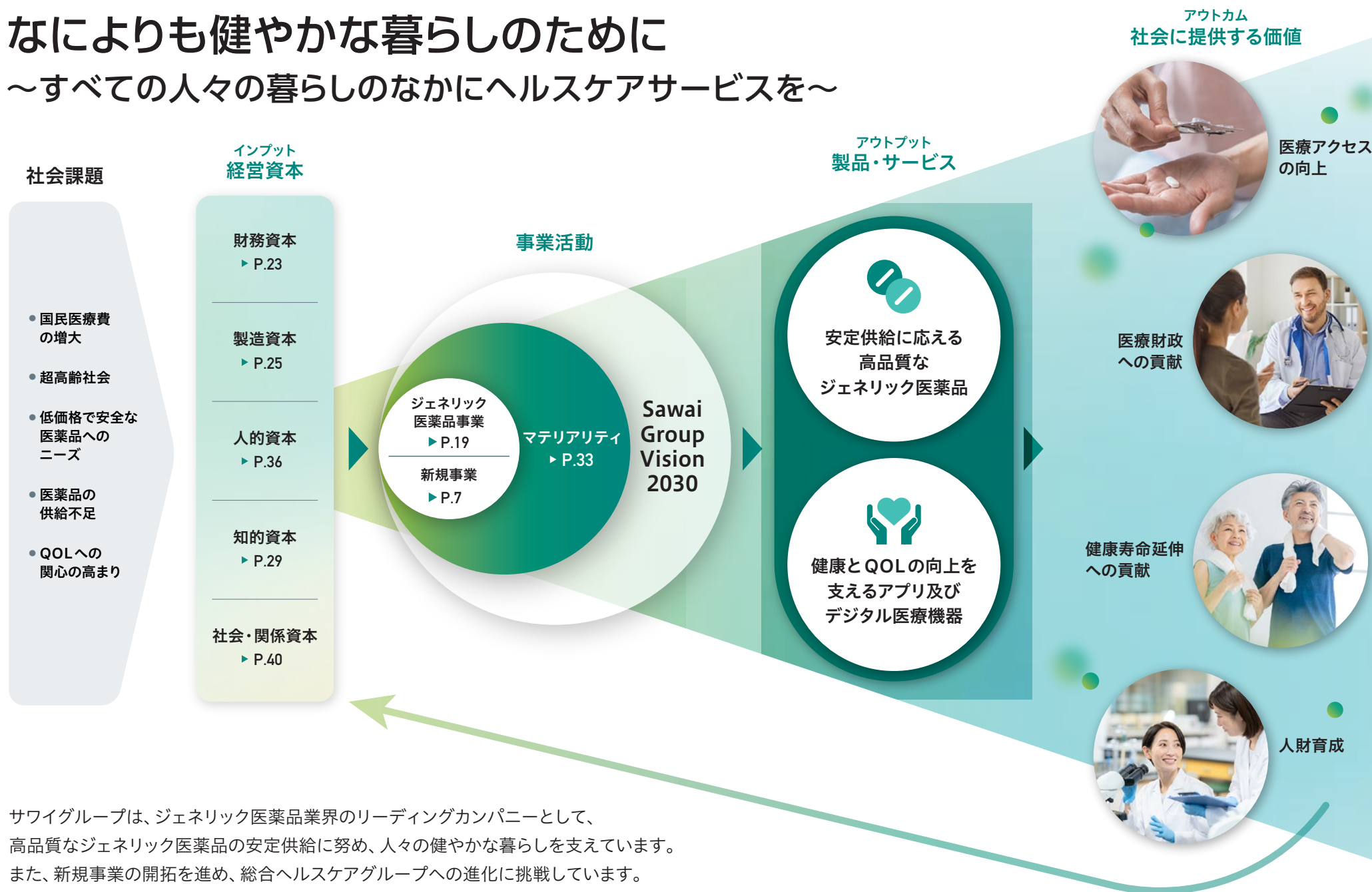
業界再編を見据え、 選ばれ続けるGEメーカーに

既存事業の強化と新規事業の育成、これを支えるガバナンス機能の強化を目指し、2021年に持株会社体制へ移行しました。社会インフラとして、低価格で高品質なジェネリック医薬品の安定供給に努めるとともに、業界トップクラスの生産能力と販売数量の増強に取り組みます。



上場通知書

なによりも健やかな暮らしのために ～すべての人々の暮らしのなかにヘルスケアサービスを～



(2025年度)



業績

売上収益

2,017 億円 前年度比 **6.7%** 増↑

営業利益

159 億円 前年度比 **292.5%** 増↑

ROE

5.9% 前年度比 **0.3%** ポイント減↓

ROIC

3.8% 前年度比 **0.5%** ポイント減↓

親会社所有者帰属持分比率(自己資本比率)

49.6% 前年度比 **0.6%** ポイント増↑

親会社所有者帰属持分配当率(DOE)

3.6% 前年度比 **0.2%** ポイント増↑

強み

生産体制 ▶ P.25

全国 **8** 工場

生産能力

205 億錠

保有特許数 ▶ P.29

78 件

研究開発費 ▶ P.29

124 億円

品質保証監査件数(GMP監査数) ▶ P.41

115 件

MR数

約 **380** 名

社会インパクト

医療アクセスの向上

販売数量

171 億錠

日本で流通する医療用医薬品の数量に占めるシェア

9.0%

医療財政への貢献

医療費節減額

2,129 億円

健康寿命延伸への貢献

PHR(パーソナルヘルスレコード)管理アプリ

約 **3,000** の医療機関で活用

「Sawai Group Vision 2030」達成に向けて

Sawai Group Vision 2030

創りたい世界像

より多くの人々が身近に
ヘルスケアサービスを受けられ、
社会の中で安心して
生き活きと暮らせる世界

ありたい姿

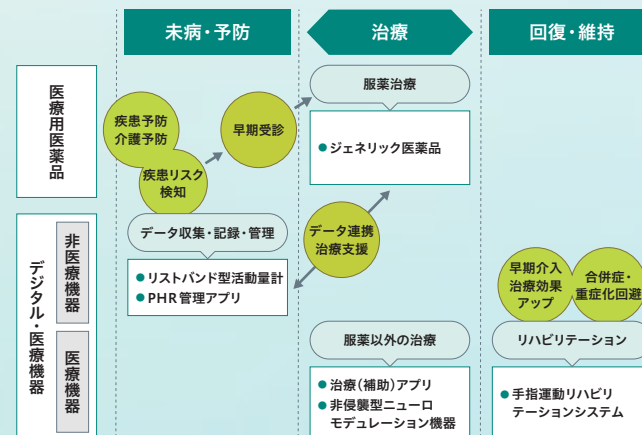
個々のニーズに応じた、
科学的根拠に基づく製品・サービスを
複合的に提供することで、
人々の健康に貢献し続ける
存在感のある会社

▶ P.15 中期経営計画「Beyond 2027」

▶ P.33 マテリアリティの進捗

中核となるジェネリック医薬品事業では、供給責任の遂行を最優先事項に位置付け、2030年度に250億円の生産体制を目標に掲げています。さらに、デジタル・医療機器や疾患予測などの新規領域への投資を加速し、未病・予防から治療、回復・維持まで寄り添う総合ヘルスケアグループへの進化を目指します。

事業展開



薬剤治療の枠を超え、未病・予防から回復期までのあらゆるライフステージにおいて最適なケアを届けるべく、デジタル・医療機器事業への進出を本格化させています。薬剤治療に限らない選択肢を提供することで、健康寿命の延伸に寄与し、ひとりでも多くの人々の健康に貢献していくために、総合ヘルスケアグループとしての新たな挑戦を続けていきます。

実績と目標数値

	2025年度実績	「Vision 2030」 2030年度
売上収益※	2,017億円	3,100億円
販売数量	171億錠	240億錠
販売数シェア	15.8%	25.0%以上
生産能力	205億錠	250億錠以上
ROE	5.9%	13%以上
ROIC	3.8%	10%以上

※ 新規事業含む

ジェネリック医薬品市場は、人口の高齢化に伴う医薬品需要の拡大により、2030年度まで年平均7億錠程度の規模で拡大が予想されます。このようななか、当社グループは生産能力の増強により、市場の伸びを上回る販売数量の増加を実現し、さらなるシェア拡大を目指します。

サワイの独自技術とヘルスケアの未来が体験できる自社イベントを開催

2026年3月、サワイグループが長年培ってきたジェネリック医薬品の製剤技術に加え、新規事業として注力しているデジタルヘルスケア・医療機器を紹介するイベント、「Innovation Meetup」を開催しました。社内外の関係者の皆さまには、体験や講演を通じ、ヘルスケアの新たな可能性を実感いただきました。



サワイグループホールディングス株式会社
代表取締役会長 兼 社長
(グループCEO 兼 グループCOO)

澤井 光郎



沢井製薬株式会社 製剤研究部

西村 卓朗

講演「研究開発本部におけるAI活用事例」

イベント概要

日時：2026年3月13日(金)13:00-17:00

招待者：投資家、アナリスト、メディア

来場者数：33名

日時：2026年3月14日(土)10:30-15:45

招待者：社員とご家族、役員

来場者数：314名

サワイの技術

**SAWAI
HARMOTECH®**



サワイグループの製剤技術力が支える 独自価値と安定供給

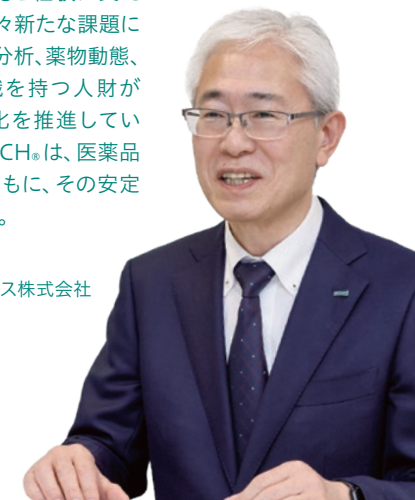
SAWAI HARMOTECH®は、患者さんや医療現場の声を徹底的に分析し、医薬品の「飲みやすさ」や「取り扱いやすさ」を追求した沢井製薬独自の製剤技術群です。速崩壊錠やフィルムコーティングに関する技術など9つの独自技術で構成され、医薬品の飲み心地の向上に加え、保管性・携帯性といった取り扱いやすさの改善にも寄与しています。患者さんや医療現場のニーズに応じて医薬品に新たな付加価値をもたらし、使いやすい医薬品の実現を支えています。

独自の製剤技術力により 価値創出と安定供給に貢献します

当社グループの製剤技術力は、新製品の開発で蓄積してきた知見と経験に支えられています。現場では日々新たな課題に向き合い、製剤技術や物性分析、薬物動態、知的財産などの専門知識を持つ人財が連携し、独自技術の高度化を推進しています。SAWAI HARMOTECH®は、医薬品に付加価値をもたらすとともに、その安定供給の基盤となっています。

サワイグループホールディングス株式会社
上席執行役員
グループ研究開発統括役員
(グループCRO)

澤田 豊博



Innovation Meetup の会場で展示した製品の一部をご紹介します。

sawai

減酒治療を補助するアプリ 「HAUDY(ハウディ)※」を販売開始

HAUDY(ハウディ)は、飲酒習慣の修正による減酒を目指すプログラム医療機器(治療補助アプリ)で、「患者用アプリ」と「医師用アプリ」の2つで構成されています。HAUDY(ハウディ)は、治験で質の高い科学的エビデンスが示されており、医師の診断のもと患者さんに処方され保険適用されます。

HAUDY(ハウディ)の普及により、アルコール依存症の患者さんの治療へのアクセス向上が期待されます。

※ 販売名: CureApp AUD 飲酒量低減治療補助アプリ



片頭痛治療に新たな選択肢をもたらす 医療機器「レリビオン®」

レリビオン®は、電気神経刺激により片頭痛急性期の痛みを緩和する医療機器です。片頭痛領域では新薬開発が進む一方、副作用などにより薬の服用が難しい患者さんも少なくありません。欧米では、薬を用いない治療法としてニューロモデュレーション※が有効な治療選択肢として確立されています。

当社グループは、レリビオン®を日本初の新たな片頭痛の治療選択肢として患者さんに届けることを目指しています。

※ 電気や磁気等の刺激により神経機能を調整する治療法



健やかな暮らしを支える、 選択肢を広げる取り組み



グループの一員として、デジタルヘルス ケアの価値創出を加速します

FrontActは、生体信号センシングとアルゴリズム解析を強みとし、デジタル技術を活用して健康課題の解決に取り組んでいます。未病・予防から介護までを視野に入れ、新たなヘルスケアサービスの開発・提供を進めてきました。

2025年にサワイグループの一員となったことで得られた事業基盤やネットワークを活かし、今後はグループ各社との連携を通じて、既存事業と新規事業の両面から、より大きな価値創造に挑戦していきます。

FrontAct株式会社
代表取締役社長
野村 武彦

手指機能の回復を支える リハビリテーション機器「MELTz®(メルツ)」

MELTz®手指運動リハビリテーションシステムは、主に脳卒中の後遺症により片手麻痺が残る患者さんの手指リハビリテーションを補助する医療機器です。患者さんの運動意図に伴って筋肉から出る微弱な筋電(生体信号)を測定・解析し、ロボットハンドが動作することで、手指の運動を支援します。

これまで50以上の医療・リハビリテーション施設で採用されており、今後もより多くの患者さんの手指機能回復を支える治療選択肢として貢献していきます。



健康づくりを支える リストバンド型活動量計「MiMoRy®(ミモリー®)」

MiMoRy®は、5種類の高性能センサーを搭載したリストバンド型活動量計です。装着して日常生活を送るだけで、歩数、安静時脈拍、睡眠スコア、会話量、皮膚温度、消費カロリー、紫外線量などのデータを自動取得。毎日のセルフケアや健康維持に役立ちます。なお、MiMoRy®は医療機器ではありません。

必要な機能に絞り充電頻度を抑え、高齢者にも扱いやすい機器とし、企業、研究機関及び自治体に提供しています。

